みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議＜令和元～２年度事業計画＞

はじめに

　仙南地域の魅力ある観光資源をつなぎ、交流人口及び関係人口などの増加並びに仙南地域全体の活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクルツーリズム事業を推進することを目的に、平成31年2月25日に「みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議」を設立しました。

　本推進会議は、連携で行うサイクルツーリズム事業の毎年度事業計画及び収支計画等を協議し、事業内容の合意形成、各市町の負担金を決めて、事業を具現化するものであります。

　事業計画及び収支計画等は、各市町の観光担当者で構成する作業部会で調査、研究、検討を行い、以下作成しました。

１．令和元年度事業計画

**(1)みやぎ仙南サイクルツーリズム専用サイト制作**

　仙南地域のサイクルツーリズムは、単発のイベントはあるものの年間を通じたサイクリストに対する情報発信が不足している状況にあります。全国的な情報発信を踏まえて、今年度中に、二市七町のサイクリング情報を集約した専用サイトを立ち上げていきます。

※作業部会で決めた内容を記載（↓案）

専用サイト：みやぎ仙南サイクルツーリズム

作成時期案：令和元年12月～令和2年1月

作成手法：（作業部会協議１・別紙１）

２．令和２年度事業計画

1. **仙南地域サイクリング環境分析調査**

サイクリングが安心に快適にできる環境であるかをモニターによる分析調査を行いま

す。道路環境、案内表示、眺望、立ち寄り施設、撮影スポットなど、仙南地域全体のサイクリングに関する事項について、サイクリストからの評価・意見・要望をまとめ実施事業に反映していきます。

※作業部会で決めた内容を記載（↓案）

　委託名：仙南地域サイクリング環境分析調査

　委託内容：各市町のサイクリング走行環境の分析、眺望・立ち寄り・撮影スポット等評価及び写真提出、仙南地域サイクリング実態の各種報告の作成

　調査時期：令和２年4月～5月

　作成手法：サイクリング団体を総括できる業者に委託（作業部会協議２）

（概算経費80万円）

**(2)(仮)みやぎ仙南サイクルガイドマップ作成**

　年間を通じたサイクリストへの情報発信としてガイドマップを作成し、推奨するサイクリングコースや立ち寄り場所等を紹介していきます。サイクリストの情報入手として、ウェブ上のサイクリングコース紹介のHP、SNSでの紹介記事等を閲覧のほか、サイクリング店やスポーツ店に配備するパンフレットを資料に活動をする傾向があることから、仙南地域のマップをメインに観光資源を紹介するガイドマップを作成します。

※作業部会で決めた内容を記載（↓案）

名称：（仮）みやぎ仙南サイクルガイドマップ

作成時期案：令和2年5月～８月

作成手法：（作業部会協議３・別紙２）　　　　　　　　　　　　（概算経費80万円）

**(3)(仮)みやぎ仙南チャリフォトコンテスト**

　サイクリストは走行のたびに写真撮影を行いSNSにアップすることから、自主的に観光PRを担う存在にもなっています。仙南地域で撮影した写真を募集する「(仮)みやぎ仙南チャリフォトコンテスト」を行い、仙南地域に関心を持ってもらうとともにPR素材（写真）を多く集め、専用サイトで「（仮）みやぎ仙南サイクル三十六景」を設置、またガイドマップに活用、優秀作はカレンダーに活用するなど、話題性と多様な活用により情報発信を進めます。

※作業部会で決めた内容を記載（↓案）

名称：（仮）みやぎ仙南チャリフォトコンテスト

実施時期案：令和2年4～5月第1回募集・6月発表

令和2年8～9月第2回募集・10月発表

実施手法：（作業部会協議４・別紙３）　　　　　　　　　　　　（概算経費10万円）

３．サイクルツーリズム事業の展開

　現状、仙南地域についてはサイクリストの認知が低い状況であることから、サイクリングコースや観光資源のPRを重点に情報発信を行い、話題や関心のある事業を組み入れながら認知度を高めていく方向で事業を進めます。

　誘客の手法として、各市町がつながるサイクリングコースにおいて周遊イベントを実施、またはガーデンツーリズムとの連携で（仮）花めぐりサイクルライド、またはサイクルスタンプラリーなどのイベントも可能と考えます。また、誘客として、道路内サイクリング走行路を示す「矢羽根」や案内看板等設置も安心に観光できる環境整備に必要ですが、整備補助等の手当がない時点ではソフト中心にサイクルツーリズム事業を展開していきます。

※作業部会で決めた内容を記載（↓案）

令和元年度～　多様な情報発信を目指す⇒　　　　　認知度向上

令和３年度～　特徴的なイベントの実施を目指す⇒　話題性創出

令和５年度～　地域・民間との協同体制を目指す⇒　ｻｲｸﾙﾂｰﾘｽﾞﾑ浸透

４．事業計画に対する収支計画

※作業部会で決めた内容を記載（↓案）

（内容は作業部会協議１～４の内容により、その後見積り、各市町負担金を算出）

・令和元年度は専用サイト作成について、作業部会協議１によりできる限り経費を発生しない方向にしていきたいです。

・令和2年度事業に関しては、サイクリング環境分析調査及びガイドマップ作成等の経費に対して、宮城県市町村振興総合補助金を活用しながら、各市町からの負担金により進めていきます。